

スギ花粉症・ダニアレルギー性鼻炎に対する 舌下免疫療法



NIHONBASHI HAMACHO
E.N.T. CLINIC

当院では、スギ花粉症・ダニアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法を行っております。

以前から皮下注射によるアレルゲン免疫療法が行われてきましたが、2014年にスギ花粉症、2015年にダニアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法が保険適応になり、自宅で服用していただくことが可能になりました。

長期にわたってきちんと治療を行うことで、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、眼のかゆみなどの**症状の改善**や、**QOL(生活の質)の改善**、**アレルギー薬の減量**が期待できる治療法です。

以下のような方には特におすすです。お気軽にご相談ください。

- 薬の使用を減らしたい方
- 薬で眠気などの副作用が出やすい方
- 重症のアレルギー性鼻炎で、薬による治療が効きづらい方
- 数年先に妊娠・出産を希望される女性の方
- 数年後に受験を控えており、症状を軽減させておきたい学生の方



日本橋浜町耳鼻咽喉科
NIHONBASHI HAMACHO E.N.T. CLINIC

舌下免疫療法とは

アレルギーの原因であるアレルゲン(抗原)を含む治療薬を舌の下に少量から、徐々に量を増やして繰り返し投与することで、身体をアレルゲン(抗原)に慣らし、**症状の改善**や**根本的な体質改善**を図る治療法です。

1日1回

治療薬を舌の下に1~2分保持
その後飲み込みます

※服薬後5分間はうがい・飲食を控えます。
※服薬前後2時間は、激しい運動、飲酒、入浴を控えます。



治療費は1か月あたり
2000~3000円

(3割負担かつ他の治療や薬の
処方がない場合)

通院は月1回

副反応が起こりやすい治療開始直後は1~2週間毎に通院していただきます。
なお、当院では1か月以上の長期処方を行っておりません。

舌下免疫治療の開始時期 (スギ花粉症がある場合)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
花粉飛散中は 治療を開始できません アレルゲンに対する身体の反応性が 過敏になっているため					← 舌下免疫療法を開始できます → 効果が出るまでに時間がかかるため、 早めのスタートをおすすめします。						

治療期間

舌下免疫療法は、すぐに効果が出る治療法ではありません。

どんなに早い方でも効果が出るまで数か月はかかります。また効果が出たからといって短期間で治療を終了すると効果が持続しないと考えられています。1~2年の治療で効果を判定し、効果があれば**3~5年**の治療をすすめています。3~5年の治療で長期間効果が持続すると考えられていますが、中には治療を終了してしばらく経ってから症状が悪くなる例があります。その場合も1~2年の治療を再度行うことで効果が元に戻ると考えられています。

治療にあたって

アレルギー検査(約5,000円:3割負担の場合)が必要です。

舌下免疫療法を行うにはスギ花粉症もしくはダニアレルギー性鼻炎の確定診断が必要です。他院でアレルギー検査を3年以内に行っている方は、検査結果(口頭不可)をお持ちください。

舌下免疫療法の適応がある場合は、治療について十分にご理解いただいた上で治療開始日(初回投与日)を決めます。**最初の受診日にいきなり治療を開始することはできません。**

初回投与は当院で行います。治療薬を服用してから**約30分間の経過観察**を行い、副反応の有無を確認します。特に問題がなければ、翌日から自宅での服用が可能になります。

他の薬やレーザー治療との併用はできますか？

ステロイドの内服薬(プレドニン、セレスタミンなど)は免疫系が抑制され治療の効果に影響を及ぼす可能性があります。抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、鼻噴霧用ステロイドなどは併用できます。レーザー治療を受けていただくことも可能です。

小児でもできますか？

2018年からお子さん(5歳以上)でも舌下免疫療法を受けていただくことが可能になりました。お子さん自身が毎日治療薬を舌の下に置き、一定時間保持できることが条件となります。長期間の治療になりますので、保護者の方のサポートも非常に重要です。スギ花粉の場合は新しい治療薬(2018年6月下旬に発売)のみお子さんに使用可能です。発売後1年間は14日分までしか処方できず、2週間毎の来院が必要となります。

妊娠中や授乳中でもできますか？

妊娠されている方、妊娠の可能性のある方にはおすすりできません。治療そのものというよりは、副作用が出たときに薬の使用に迫られるなど、様々な問題が生じる可能性があるからです。授乳中の方に関しては、あらかじめご相談いただければ幸いです。

スギ花粉とダニの併用はできますか？

可能ですが、同時に開始することはできません。困っている方を優先して、落ち着いた段階でもう一方を追加します。どちらも困っている場合は副作用が出にくいスギ花粉から開始して、後からダニを追加されることをおすすりしています。

注射による皮下免疫療法との違いは？

舌下免疫療法は注射の痛みがなく、自宅で服用できるため、頻繁に通院していただく必要がありません。またアナフィラキシーなどの重篤な副反応も少ないとされています。

舌下免疫療法を受けられない方

- アレルギー性鼻炎の原因がスギ花粉やダニではない方
- 治療薬でショックを起こしたことがある方
- 重症の気管支喘息がある方
- 5歳未満の方
- 妊娠されている方、近いうちに妊娠を希望される方
- 悪性腫瘍(がん)や、免疫系の病気がある方
- 抜歯後や口の中の術後、または口の中に傷や炎症がある方
- ステロイドの内服薬や注射薬、非選択的β遮断薬、三環系抗うつ薬、モノアミンオキシダーゼ阻害薬を使用されている方
- 重症の心疾患、肺疾患および高血圧症がある方

ご高齢の方、スギ花粉やダニ以外のアレルギーに対して反応性が高い方は、治療の効果が十分に得られない可能性があります。あらかじめご相談いただければ幸いです。

有効性は？

約8割の例で改善効果(根治まで至る例は約2割)を認めます。長期にわたってきちんと治療を行うことで、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり、眼のかゆみなどの症状やQOL(生活の質)の改善、アレルギー薬の減量が期待できます。

残念ながら約2割の例では効果がありません。治療前に効果があるかどうかを予測できれば良いのですが、まだよく分かっていないのが現状です。

スギ花粉症の舌下免疫療法はヒノキ花粉にも効きますか？

スギとヒノキは植物学的に近い関係にありますが、スギ花粉症に対する舌下免疫療法の効果でスギ花粉の飛散期では症状が改善してもヒノキ花粉の飛散期には症状が悪化する例は少なくありません。特に2018年春のようにヒノキ花粉が大量に飛散する年は注意が必要です。

副反応にはどのようなものがありますか？

比較的多いのは、口の中(舌の下)の腫れ・かゆみ・違和感といった**口腔内**の症状です。他にもくしゃみ・鼻みず・鼻づまりといった鼻症状の悪化、のどのかゆみや不快感、耳や眼のかゆみ、胸焼けや下痢などの胃腸症状などが生じることもありますが、これらの多くは**自然に改善します**。症状が続く場合は、抗ヒスタミン薬の併用、また胃腸症状の場合は治療薬を吐き出す方法(舌下吐き出し法)への変更で対応しています。

非常に稀ですが起こりえる副反応として、**アナフィラキシー**があります。医薬品などに対する急性の過敏反応により、蕁麻疹(じんましん)、腹痛や嘔吐、息苦しさ、頻脈・不整脈や血圧低下、意識の混濁など全身症状が見られます。国内では舌下免疫療法によるアナフィラキシーの報告はありませんが、海外では1億回の投与で1回程度生じたとの報告があります。他に注意しなければならない副反応として、気管支喘息の発作と急性の蕁麻疹(じんましん)があります。これらを生じた場合には、舌下免疫療法が原因でないものであっても中断を考慮します。

服用後**30分以内**、服用**開始初期**、スギ花粉の場合は**花粉が飛散している時期**は副反応が起こりやすいので注意が必要です。

最後にもう一度ご確認ください

- スギ花粉症もしくはダニアレルギー性鼻炎でお困りですか？
- 治療薬の服用を毎日、そして長期間(3~5年)継続できますか？
- 少なくとも月に1回は受診できますか？
- 全ての患者さんに効果を示すわけではないことが理解できましたか？
- 副反応について理解できましたか？

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-25-10 日本橋浜町ポストビル3F

TEL 03-6661-6088 <http://hamacho-ent.com/>

診療時間 9:00~12:30(土曜日のみ~13:00) 15:00~18:30

(休診日 木曜日・土曜日午後・日曜日・祝日)

当日予約はこちらから <https://clinic.smiley-reserve.jp/nihonbashi-hamacho-ent>



日本橋浜町耳鼻咽喉科

NIHONBASHI HAMACHO E.N.T. CLINIC